

マレーシア旅行者の「査証（ビザ）免除」を追い風に！ ～旅行フェア「MATTA FAIR Kuala Lumpur 2013」に参加～

自治体国際化協会シンガポール事務所は、2013年9月6日（金）から8日（日）まで、マレーシア・クアラルンプールで開催された「MATTA FAIR Kuala Lumpur 2013」に参加しました。

日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所と協力してジャパン・パビリオンのビジット・ジャパン（VJ）ブースにおいて、来場者に対し観光パンフレット等の配布・説明を行いました。日本各地の観光PRを通じて得た、マレーシアからの訪日旅行市場の現状を報告いたします。

1 訪日旅行商品の購入者数、過去最高を記録！

JNTOシンガポール事務所が実施した調査によると、フェア全体の来場者は昨年よりも減少したものの、訪日旅行商品購入者による景品引き換え人数（売れ行き）は非常に好調で、2,447件（昨年9月比62%増）であり、過去最高を記録しました。

この状況を裏付けするように、2012年のマレーシアからの訪日旅行者は13万人を超え、過去最高となっています。中間所得層の所得増加やLCCの就航により、今後ますます訪日旅行者が増加することが期待されています。なお、マレーシアにおける訪日旅行市場これまで、中華系マレー人の富裕層が主流でした。しかしながら、マレー人の所得水準の向上やLCCの就航などにより、今後はマレー系の占める割合が拡大することが予想されています。



多くの入場者でにぎわう会場

2 最大数の出展となった“ジャパン・パビリオンへ”

今回、JNTOが設けたジャパン・パビリオンには、日本各地の観光関連団体等から、過去最高の28団体（18ブース）が出展しました。

【出展団体】

公益社団法人北海道観光振興機構/北海道スキープロモーション協議会、株式会社札幌かに本家、ルスツリゾートホテル&コンベンション、東北観光推進機構、千葉県、東京ディズニーリゾート、株式会社プリンスホテル、東京空港交通（株）、独立行政法人日本学生支援機構、三井不動産商業マネジメント株式会社、横浜市、神奈川県、川崎市、箱根町、台東区、大田区、品川区、日本航空（株）、京浜急行電鉄（株）、小田急

電鉄（株）、静岡県、中部国際空港利用促進協議会、大阪観光局、関西地域振興財団、紀伊半島滞在型プロモーション事業実行委員会、九州観光推進機構、沖縄観光コンベンションビューロー

ジャパン・パビリオン内のVJブースでは、訪日旅行に関する総合的な案内窓口として、来場者への各種観光パンフレットの提供や説明、質問への対応のほか、来場者のうち日本旅行商品購入者を対象とした抽選が行われました。

また、在マレーシア日本大使館による査証案内コーナーが併設され、本年7月1日から査証なしで訪日できることとなったことに関するPRと来場者からの質問への対応を行いました。窓口では途切れることなく相談を受けている状況で、3日間で約2,500件の問い合わせがありました。

なお、今回初めて「ムスリム専用案内コーナー」が設置され、JNTO作成のムスリムガイドブック、各地で対応に取り組む施設等のパンフレットが準備されました。初日から多くのムスリム旅行者がブースで案内を受ける姿が見られ、関心の高さを感じました。

しかしながら、パンフレット数が足りなくなり、期間前半にはパンフレットなしで説明せざるを得ない状況となりました。

なお、台湾や韓国などもムスリム旅行者向けのガイド冊子を配布し、情報を提供していました。



ムスリム専用案内コーナー

3 旅行先、まずはゴールデンルート

VJブースの来場者の多くは、初めて日本を訪問するということで、ゴールデンルート（東京・大阪・京都・富士山）、北海道に関する質問が大部分を占めました。東京及び大阪にFIT（個人旅行）で来日を予定している人が、訪問先を検討するために情報収集を行っている様子が窺えました。このため、東京、大阪から入国して京都や富士山を訪問し、大阪、東京から出国するルートで旅行を計画されている人が多い印象でした。



VJブースでの問い合わせ

なお、北海道の雪やラベンダーが人気で、東京を経由して北海道に行きたいがJRパ

スを使って電車で行けるかなどを検討している旅行者も見られました。

その他の地方都市に関しては知名度が低いのが現状のようですが、白川郷の景色をみて興味を持った方から情報を求められる場面や、既に東京・大阪を訪問した旅行者が九州の温泉地や中部地方などの情報を求めて来られることもあり、旅行先が徐々に多様化している状況が感じられました。

なお、VJブースにおいて放射能汚染水に関する質問や、訪問を予定している地域と福島の距離を尋ねる質問もありました。

<来場者から寄せられた質問等>

	質問事項
訪問したい地域	東京（TDR、箱根、日光、鎌倉、川越等を含む） 関西（大阪、京都、奈良、神戸、和歌山） 北海道 白川郷、飛騨高山 宮城 広島
訪日目的	<ul style="list-style-type: none"> ・桜、紅葉、雪を見たい。四季折々の体験がしたい。 ・美味しい食事（寿司、刺身）が食べたい。 ・子供とテーマパーク（TDR、USJなど）やリゾートに行きたい。 ・歴史的建造物を見たい。 ・買い物（円安で割安感がある） ・子供の語学留学（高校）先選定のための下見
その他の質問	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の開花時期、紅葉の見頃の時期 ・JRパスの質問（購入方法、エリア別パス・私鉄等との比較） ・放射能への心配（福島との距離、東京の状況、魚介類への影響） ・ホテルの立地（どこが便利か） ・東京の乗換方法（JR、メトロ等） ・ムスリム向けの食事、祈祷場所、日の出日の入り ・Visaの緩和について ・日本への旅行は初めて人が多い ・ベストシーズンを知りたい ・放射能の心配、福島からの距離

4 MATTA FAIRとは

マレーシア旅行業協会 MATTA (Malaysian Association of Tour and Travel Agents) がマレーシア国内の主要都市で年間を通して開催している一般旅行者向けの国

際旅行博です。その中でも首都クアラルンプールで国内最大規模のものが年2回（3月、8～9月頃）開催されます。

日本でイメージされるPRが主目的の旅行フェアとは性質が異なります。来場者に「パッケージ商品を販売する」ことが最大の目的となっており、旅行商品の即売会です。フェア期間中の目標売上額を越えるため、各旅行会社の出展（販売）には熱が入ります。

一方、一般来場者も期間中に販売される特別価格の航空券や特別割引セールツアーを求め、入場料RM4.10（約120円（2013年9月9日現在））を支払って来場しますが、通常は来場したその日には購入しません。まず初日に興味のあるエリアの観光情報やパッケージツアーパンフレットを入手します。2日目以降に家族で作戦会議を開催し、旅行先やパッケージを決定。その後再度会場に来場し、現地旅行会社のブースで価格交渉を行うとのこと。

<開催概要>

開催日時	2013年9月6日（金）～8日（日）
開催地	Putra World Trade Centre (PWTC) Hall1～Hall4
来場者	86,867人（昨年9月比4.5%減）

CLAIRシンガポール事務所では今後も、マレーシアをはじめASEAN・インド地域における観光関連事業を通じ、自治体の観光客誘致への支援や情報収集をまいります。どうぞ御活用ください。

（岡田所長補佐 熊本県派遣）

CLAIR